

地区名	国立市
研究主題	科学的な思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫
<p>I. 研究主題設定の理由</p> <p>新しい学習指導要領が告示され、学習指導を通して資質・能力を育むことが示された。資質・能力の三つの柱としては、「何を理解しているか・何ができるか」（生きて働く知識・技能の習得）、「理解していること・できることをどう使うか」（未知の状況にも対応できる思考力・表現力・判断力等の育成）、「どのように社会・世界とかわり、より良い人生を送るか」（学びに向かう力・人間性等の涵養）が挙げられている。</p> <p>本研究会ではこれまで、思考力・表現力等の向上に力を入れて研究を進めている。これは、新学習指導要領にも示された、三つの資質・能力、特に「理解していること・できることをどう使うか」に大きく寄与するものであり、相互に関連させて高めていくことが重要であると考えている。</p> <p>すなわち、問題解決型学習の過程において、目の前の事象から問題を見出し、仮説を立てたり、実験・考察を行ったりする活動が、未知の状況にも対応できる思考力・表現力・判断力等を育むと考える。そこで、研究主題を「科学的な思考力・判断力・表現力を高めるための指導法の工夫」とした。</p> <p>II. 研究の内容</p> <p>(1) 研究の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○問題解決の過程を繰り返し、丁寧に行う。 問題解決の過程を繰り返し行うことで、主体的に問題を解決する能力の育成につなげる。</li> <li>○見通しをもって課題に取り組ませる。 問題解決に向けて生活経験や既習事項を活用し、見通しをもって観察・実験に取り組むことで、問題解決の能力や観察・実験の結果を整理し考察する力を養う。</li> <li>○話し合いや発表の場の確保をする。 個人の情報を共通理解する時間を設定し、お互いの情報を比較検討することで、思考を深める。</li> <li>○見出したきまりを適用できる課題を行う。 学習したことを日常生活や身の回りの事象・現象と関係づけることにより、理解を深める。</li> <li>○小・中学校間で、協力した授業研究 校種を越えて協力・連携することで、小・中学校7年間を見通した効果的な指導を行う。</li> </ul> <p>(2) 今年度の予定</p> <p>4月19日(水) 組織づくり、研究主題の決定、授業公開授業者・授業単元の決定</p> <p>5月30日(水) 授業検討及び教材研究</p> <p>6月28日(水) 研究授業 小学校5学年「電気のはたらき」単元 授業者 国立第五小学校 伊三部 優介 教諭 指導講評 東京女子体育大学 准教授 圓谷 秀雄 先生</p> <p>7月21日(木) 授業検討および教材研究</p> <p>9月 6日(水) 授業検討および教材研究 事前提案及び検討</p> <p>11月 8日(水) 研究授業 小学校第6学年「てこのはたらき」単元 授業者 国立第八小学校 高柳絵梨香 教諭 指導講評 岐阜聖徳大学 准教授 高木正之 先生</p> <p>1月17日(水) 研究授業 中学校単元未定 授業者 国立第二中学校 上野弦矢 教諭 指導講評</p> <p>研究のまとめ、研究紀要作成 (平成29年11月30日現在 文責 国立市立国立第六小学校 主任教諭 藤田 仁)</p>	